

第178回

カケスさんの自然散歩

by 中原「カケス」直彦(しこつ湖自然体験クラブ*トゥレップ 理事)

ヒグマと川

4月は沙流(さる)地方のアイヌ語では「モ チュプ = 静かな月」とも呼ばれたそうです。「アイヌ語沙流方言辞典」田村すず子。「達者に静かに暮らしているから」とのことです。現代社会の4月のめまぐるしいこと。じっくり物事を考えながら自然散歩がしたいですね。



ウサクマイ園地の看板

先月22日(土)のこと、講演会「人とヒグマの共生のために」を聴いて参りました。サイエンス・カフェ in ちとせ実行委員会主催の会でした。たいへん興味深い良いお話でした。語ってくださったのは道庁の環境生活部ヒグマ対策室の武田忠義さん。獣医師でもあり科学的な知見から実態調査・施策立案をなさっているヒグマ専門家です。聞けば前日も猟友会千歳支部の研修会で講師を務められたとのこと。私たちにとってたいへん心強い方です。

近年の人身事故の状況を細かく分析し、ヒトとクマとの「あつれき」を低減させることを目標とした科学的保護管理が必要な時代にあることを、分かりやすく語っていただきました。

その1つの方策が「ゾーニング管理」という考え方です。市街地・住宅地の中は「排除ゾーン」として侵入を許さず、そこから一歩出た周辺は「緩衝ゾーン」として生息数を把握し管理を徹底する、というように地域全体が合意して4段階のゾーン分けをしておくことと保護・防除・駆除が可能な社会ができるという考え方です。課題は専門家の不足です。ハンターは今エゾシカ対策で手一杯。高齢化の問題

もあります。狩猟や調査・防除の専門行政職員を育成することが急務だというお話でした。

講演会の後半、質問が出ました。千歳川には孵化放流事業によって多くのサケが遡上するが、知床のようにそれを餌とするヒグマは居ないのですか?と。



サケ稚魚(さけます事業所にて)

お答えは、「サケを捕っている状況は目撃されてはいないが、出現の状況からみると居着いている感じがある。」と。

ヒグマは雑食性で植物食が主体とされています。ですが本来の身体の構造は肉食型の動物です。北アメリカやロシア極東、日本でも知床半島では、サケを捕る本来のヒグマの姿を今も見ることができます。

アイヌ民族が川沿いの集落(コタン)に住み丸木舟で行き来していた時代までは、サケに依拠するアイヌ(アイヌ語で「人間」とヒグマは、同じ川でうまく住み分けていたのでしょう。ヒグマはキムンカムイと呼ばれ、時にたくさんの肉と立派な毛皮などを授けてくださる存在として大切にされ、お互いに邪魔することなく暮らしていたのでしょう。

早春のウサクマイを歩くと、小さな動物たちに食べつくされ骨になったサケの姿がありました。数百年前でしたら、時期になるとこの千歳川の浅瀬でキムンカムイたちが食事する姿が当たり前にもみられたことでしょう。想像していただけたらと思います。



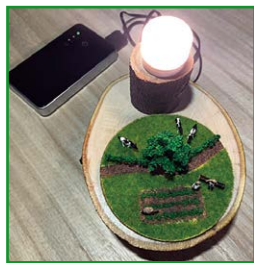
春の親サケの姿

プロフィール カケスさん

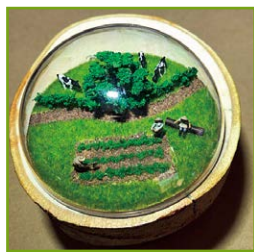
中原 直彦 (社)日本自然保護協会の自然観察指導員。市民団体「しこつ湖自然体験クラブ*トゥレップ」を2003年に設立。(財)アイヌ民族文化財団・活動アドバイザー。小学校非常勤講師、専門は環境学習。音楽活動ではブルーグラス・バンドを主宰。2009年8月より当コラムを執筆。

生活が楽しくなる DIY+

ディーアイワイ プラス



▲LEDライトを装着(写真上)と怪物(猫)保護用カプセル(写真下)▼



■DIYコラム/川筋善夫



■手のひらサイズの情景ジオラマ作り『田舎の原風景』

自分が中学時代の1968年に札幌市で開催された『北海道大博覧会』で見た巨大な『情景展示物(ジオラマ)』には衝撃を覚えました。やっぱりプロのテクニックは凄い。その衝撃から間もなく、自分が住んでいた町で開催された『模型作品展』に出品した『ジオラマモデリング』が『銀賞』を獲得した事で『模型づくり』への関心が更に強まったのです。これがDIY、デザインの原点とも言えます。

★『金賞』は賞賛に値する人が獲得したので、自分の実力では『銀賞』が妥当だとその時思いました。また受賞すると親からの投資額がグリーンとアップする事も喜びました。

【使った材料と道具】間伐材の輪切り・丸型パーツ、人工芝とコルクシート、クリアボール(半円)、リアルフィギュア(1/150)各種、LEDライト、他

＋観察力と想像力を発揮する集中力

【ポイント】①情景デザインが思い浮かんだら、忘れぬうちにすぐスケッチします。そして仕上がりスケールに合った素材をセレクトし、試作・仮組みします。②草木や地面、敷地は見た目良くデフォルメします。※1/150スケールのフィギュアは鉄道模型の『Nゲージ』相当になります。③日頃から近隣で働く人や動物の動きを良く観察しておきましょう。

【猫の肉球は何故ポニョポニョ?】猫の『肉球』には重要な機能吸収して体への負担を軽減するクッション性や汗をかいて、体温調節ができます。地面に触れる最初の感覚器センつかめたり、顔や頭のグルーミングが上手にできたりする役割があるようです。この機能って単純に「進化」とは言いだれがデザインしたのでしょね。



が備わっています。衝撃を湿らせることで滑り止サーともなり、また物を器用さなど、さまざまな難しいのですが、いったい

裏面の脚はもちろん「肉球」仕様ですが、機能性はゼロです。▶



【好きなこと】生活が楽しくなるDIY研究、聖書研究、生活デザイン、和食料理、薪ストーブの手入れ、野鳥観察、保護猫の世話 など

【注意とお願い】DIY研究は、販売目的で行っておりません。カスタマイズ等はあくまでアマチュアの領域内での造作です。

※このコラムに関心のある方は▶

千歳市立図書館からのお知らせ

5月11日

令和7年度 こどもの読書週間事業

ワークショップ

親子でおりがみのおうちをつくろう!
おりがみでおうちをつくり、おへやを描きましょう。

対象 幼児～小学3年生(保護者同伴)
とき 令和7年5月11日(日) 14時～15時30分
ところ 千歳市立図書館 2階AV室
定員 親子10組(保護者1人につき子ども2人まで)
参加料 無料
持ち物 色鉛筆やクレヨンなどの使用したい画材 ※絵具などはご遠慮ください。シールなど使用したいものがあればお持ちください。
申込方法 千歳市立図書館カウンターまたは電話にて
申込期限 4月12日(土)～先着順

問合せ 千歳市立図書館 指定管理者 (株)山三ふじや
申込 電話 0123-26-2131 FAX 0123-26-2133

正しい知識が身に付く! お金を学ぶ

開催日 5/10(土) セミナー

会場 千歳アルカディア・プラザ 研修室 300・301
0666-0009 北海道千歳市台南1-3-1

【午前の部】10:00～12:00 特別講演! 自衛官と奥様に贈る 定年前後のお金の話

【午後の部】14:00～16:00 初心者向け マネーセミナー

元自衛官の鶴羽 洋子先生が、自衛隊退職後の変化やお金の話をいたします。誰にも聞けない退職後の生活の激変ぶり、自身の経験や実例を交えてたっぷり!今まで知らなかったお金の話、疑問が解消してスッキリするご間違いなしの特別講演です!

人気ファイナンシャルプランナー・鶴羽 洋子先生からお金の知識を学びましょう!「人生を楽しむためにお金の準備」をコンセプトに、初心者の方にもわかりやすい内容でお話しします。将来のお金の不安をスッキリ解消しましょう!

参加者特典 赤土産地

特典1 ISHIYA G サクラガド・ド・シヤ(ミルク) ※写真はイメージです。

特典2 無料個別相談会に申し込めます。 ※セミナー当日は実施いたしません。

申し込み 応募フォームより必要事項を記入し申し込みください。各回抽選で30名様をご招待いたします。当選者にはメールにてご案内を送付させていただきます。ご不明点やご質問はお電話でお問合せください。

お問合せ 011-213-1221(事務局・読売エージェンシー内) 受付時間9:30～17:30、土・日・祝休み

主催 お金を学ぶセミナー事務局(住所:札幌市中央区北4西4-1読売北海道ビル6F 株式会社読売エージェンシー内)

※本セミナーの応募個人情報は、本セミナーの運営に必要な範囲内で利用します。応募者の同意なく、他の目的に利用することはありません。

※銀行、証券会社、保険会社および保険代理店にお勤めの方との配偶者、学生のご参加はご遠慮ください。 ※申込数が一人数を超えた場合は、開演日より前に申込の受付を終了させて頂く場合がございます。

応募フォームはこちら

応募締切 5/6(火) 23:59まで

※当選者には5/7(水)までに、当選通知のメールを送付いたします。